



# 耐久 < 真 健 美 >

Talk together, Study together, Walk together! Your dreams will come true!  
マンスリータイムズ 平成22年2月号

## 校内マラソン大会 2日(火)

今年度のマラソン大会は、前日の悪天候とは打って変わって晴天に恵まれました。ただ、前日の雨の影響で湯浅町民グラウンドの状態が悪く、スタートとゴール地点を変更したため、男子は少し長くなり約9.1kmの周回コース(制限時間1時間5分)、女子は約4.2kmの折り返しコース(制限時間50分)で行いました。

体調不良等のため女子2名が途中で棄権しましたが、男子247名、女子212名が元気な走りでも無事完走しました。

結果は、男子1位が古川友之君(2年、記録:32分46秒)、女子1位が牛居柚実さん(1年、記録23分24秒)で、両名とも陸上競技部に所属しています。なお古川君は2連覇を果たしました。

本年度も、上位入賞者の殆どを体育クラブ員が占め、普段の練習の成果を示す大会となりました。



<男子のスタート>



<本校の発表>

## 県教委主催防災教育拠点校実践発表会 16日(火)

2月16日(火)午後、Big・Uにおいて、拠点校3校の生徒教員、県立高校・支援学校教員の参加のもと、防災教育拠点校実践発表会が開催され、本校からは、生徒教員33名が参加しました。学校指導課清水企画員の挨拶に続き、拠点校3校による実践発表、神戸学院大学船木伸江先生の助言、生徒教員によるパネルディスカッションが行われました。

実践発表では、各校の特色あふれる取組が発表され、船木先生からは、各校の取組に対して高評価をいただき、継続の大切さについてご指摘をいただきました。

パネルディスカッションでは、「防災教育 ここがやりがい。ここが楽しい。ここが難しい。」のテーマにもとづき、活発な意見交換が行われ、参加者にとって今後の防災教育を進めるうえで大いに参考になりました。本校の参加生徒からは、「小学生との合同避難訓練が一番印象に残っている。」「今後、ボランティアとして実際に災害現場に行きたい。そのことで、今まで気づかなかったことが見えてきて、防災教育の展開が広がるのではないか。」などの意見が出されました。最後に、拠点校を代表して、本校山崎正互校長が挨拶し、閉会となりました。

3年間の指定事業が終了する次年度以降も引き続き、地域防災の核となる学校づくりと「防災」を通じて地域社会に貢献できる人材育成に取り組んでいきたいと考えています。



<パネルディスカッション>

## 修学旅行実施 9日(火)~11日(木)

「沖縄の自然・文化の体験。歴史を学び、平和について考える。」を主目標に1年生による修学旅行を実施しました。

初日、12時55分に那覇空港に到着後、6台のバスに乗り、平和祈念公園に向かいました。そこで、沖縄戦を体験された宮城喜久子先生のお話を聞かせていただいた後、生徒代表が「平和宣言」を読み上げ、慰霊碑に献花して参加者全員で「二度と戦争を起こさず平和な時代を築きあげる」ことを誓いました。司会をはじめ謝辞に至るまで生徒が進める平和集会は、素晴らしいものでした。

2日目は、クラス別に計画を立てて実施する体験学習を行いました。午前中、クラス別に、シーカヤックを操っての自然体験、家庭を訪問しての沖縄郷土料理体験やムーチャー作り等を行い、午後は「沖縄美ら海水族館」を訪れました。

3日目は、宿泊先のホテルから66台のタクシーに分乗して、班ごとに計画した目的地を訪れるというプランでした。生徒たちはドライバーの方と会話をしながら半日を過ごすことで、沖縄を直に体験できるよい機会になったと思います。予定時刻の14時に生徒が乗ったタクシーが次々と那覇空港に到着し、全員無事に3日間の体験型修学旅行を終えることができました。



<平和集会(平和記念公園)>

### — 3月の主な行事予定 —

- ・ 1日(月)…卒業式
- ・ 10日(水)…入学者選抜学力検査
- ・ 16日(火)…特別教育活動体験発表会
- ・ 19日(月)…合格者説明会(午後)
- ・ 24日(火)…終業式

### 和歌山県立耐久高等学校(全日制)

〒643-0004

和歌山県有田郡湯浅町湯浅1985

TEL (0737) 62-4148 FAX (0737) 62-2251

http://www.taikyu-h.ed.jp/

E-mail: taikyu@taikyu-h.ed.jp